

ファイナル・レポート

(日本語抄訳版)

CARAVAN SALON DÜSSELDORF 2026、キャラバニング業界の最も重要な拠点に

モバイル・レジャーが空前の人気を維持：26 万名に迫る来場者が集結

デュッセルドルフ、2026 年 9 月 6 日 | 2026 年 9 月 6 日、CARAVAN SALON 2026 が大盛況のうちに閉幕しました。第 65 回を迎えた本メッセはその成功の歴史をさらに更新し、25 万 9,000 名を超えるキャラバニング愛好家が来場しました。

経済状況の厳しさや大型投資に対する控えめな姿勢、継続する地政学的な不透明感が強まる中、CARAVAN SALON 2026 が収めたこの成果は非常に強力なメッセージとなります。キャラバニングが今なお人々を魅了し続けていること、そして本メッセが業界において最も重要なミーティングポイントであることが改めて証明されました。

これほどの規模と高いクオリティでコミュニティを一堂に集められるイベントはほかにありません。デュッセルドルフでは、来場者が車両を直接比較し、アクセサリに触れ、次の旅先を発見しながら、個別にカウンセリングを受けることができます。

今回の CARAVAN SALON 2026 では、41 か国から過去最多となる 834 社の出展者が参加。全 15 ホールの屋内に加え屋外展示エリアを使い、あらゆる好みや予算に応じたレジャー用車両、装備品、アクセサリを展示しました。出展者からは、特に商談の質の高さが高く評価されました。また、全来場者の 3 分の 1 をエントリー層が占め、新たなファン層の順調な拡大を示す結果となりました。

メッセ・デュッセルドルフ COO、マリウス・ベルレマンは以下のようにコメントしています：「CARAVAN SALON はキャラバニング業界全体における自らの重要性を、今回も圧巻の成果をもって示してみせました。経済情勢が厳しく、多くの人々が大型購入に対して慎重姿勢を強めている今だからこそ、このような強固な業界の結集には特別な価値があります。特筆すべきは、全来場者の約 50% が『明確な購入意図を持って』デュッセルドルフを訪れたことです。本メッセは、比類なき製品の多様性、国際的な発信力、革新性、そして質の高い来場者体験が見事に融合しており、そのリーディングポジションを不動のものとしています。重要な商談が行われ、キャラバニング業界が目指すべき未来の方向性が提示される場所、それこそがデュッセルドルフなのです。」

情熱とイノベーション精神をもって CARAVAN SALON に毎年新たな息吹を吹き込んでくださる、ドイツキャラバン産業工業会（CIVD）をはじめ、すべての出展者・パートナーの皆様に心より感謝申し上げます。そして何より、その熱意と好奇心、そしてキャラバニングへの深い愛によって本メッセを創り上げてくださっているすべての皆様に感謝いたします。皆様のおかげで、CARAVAN SALON はコミュニティの活気あふれる交流拠点であり、車両とともに自由を愛するすべての人々のための唯一無二の場所であり続けているのです」。



28.08. – 06.09.2026
caravan-salon.com

Messe
Düsseldorf

Messe Düsseldorf GmbH
Postfach 10 10 06
40001 Düsseldorf
Messeplatz
40474 Düsseldorf
Deutschland

Telefon +49 211 4560 01
Telefax +49 211 4560 668
www.messe-duesseldorf.de
info@messe-duesseldorf.de

Geschäftsführung:
Wolfram N. Diener (Vorsitzender)
Marius Berlemann
Bernhard J. Stempfle
Vorsitzender des Aufsichtsrats:
Dr. Stephan Keller

Amtsgericht Düsseldorf HRB 63
USt-IdNr. DE 119 360 948
St.Nr. 105/5830/0663

Mitgliedschaften der
Messe Düsseldorf:

The global
Association of the
Exhibition Industry

Ausstellungs- und
Messe-Ausschuss der
Deutschen Wirtschaft

FKM – Gesellschaft zur
Freiwilligen Kontrolle von
Messe- und Ausstellungszahlen

Öffentliche Verkehrsmittel:
U78, U79: Messe Ost/Stockumer Kirchstr.
Bus 722: Messe-Center/Verwaltung

また、CARAVAN SALON 統括ディレクター、シュテファン・コシュケも以下のように付け加えます：「CARAVAN SALON の影響力はドイツや欧州にとどまらず、B2B の交流拠点としても、世界的に見ても唯一無二の存在感を放っています。今年は特に、アメリカ、オーストラリア、南米、そしてアジア各国から多数のお客様にご来場いただきました。多様なテーマエリアと魅力的なイベントプログラムを通じ、CARAVAN SALON は今日の『移動型旅行』がいかに多彩で広がりのあるものであるかを実証しました。初心者向けの『Starter Welt』をはじめ、自作カスタム体験、旅行＆ネイチャー、装備＆アウトドア、ルーフテント、オフロード、さらにはカンファレンスプログラムに至るまで、あらゆる関心やニーズに応える内容となりました。ダイナミズムと成長可能性に満ちた市場環境の中、本メッセは大きな存在感を示せたと自負しています」。

ドイツキャラバン産業工業会（CIVD）のベルント・レア会長も、次のように前向きな見解を示しました。「第 65 回を迎えた今年も、CARAVAN SALON はキャラバニングが人々に与える絶大な魅力を証明してみせました。大盛況の展示ホール、新車やアクセサリ、最新イノベーションに対する強い関心、そして各ブースで繰り広げられた活発な対話は、私たちの業界にとって非常に力強い追い風となります。来場者は詳細な情報を集め、製品を比較し、メーカーや販売店と直接対話するためにデュッセルドルフを訪れています。キャラバニングに対する情熱は衰えを知りません。

この大きな反響が示す通り、CARAVAN SALON は単なる新製品の発表の場を超えた存在です。メーカー、サプライヤー、販売店、サービスプロバイダ、そして観光デスティネーションが一堂に会します。この多様性こそが本メッセの強みであり、業界の各セクターを結び付け、共通の課題に対する専門的な議論を可能にしています。主要な関係者が一か所に集まるからこそ、当協会も本メッセを活用し、政治、観光、経済の各分野と連携して未来に向けた重要課題を推進しています。これには、企業や目的地のための安定した枠組みの確保、効率的な観光インフラの整備、そして政策決定におけるキャラバニング特有のニーズや潜在能力の反映などが含まれます」。

次回 CARAVAN SALON 2027 は 2027 年 8 月 27 日（金）から 9 月 5 日（日）までデュッセルドルフにて開催予定です。

- ・ CARAVAN SALON DÜSSELDORF のファイナル・レポート（オリジナル・英語）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：富田
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1
ニューオータニガーデンコート 7F
Tel: 03-5210-9951, <mailto:mdj@messe-dus.co.jp>



© Messe Düsseldorf / C. Tillmann

【出展者の声（抜粋）】

- ・ 「CARAVAN SALON は人、ブランド、そしてアイデアをめぐり合わせる場であり、顧客やパートナーと深い対話を行う唯一無二の機会を提供してくれます。当社のブランド群はその魅力を余すことなく示せました」（Erwin Hymer グループ CEO アレクサンダー・レオポルト氏）
- ・ 「CARAVAN SALON 2026 は、キャラバンニングや高品質な移動型旅行に対する情熱が今なお衰えていないことを改めて示しました。一方で、厳しい経済情勢による購買意欲の減退傾向も認識しています。だからこそ、商談の質の高さや当社製品への強い関心に対し、より一層の喜びを感じています。総じて非常に満足しており、これからの数か月に向けて大きな手ごたえを得ることができました」（Carthago グループ、販売・顧客担当取締役ベルント・ヴシャック氏）
- ・ 「今シーズン最高のスタートを切る場となりました。高い集客力、そしてメディアや業界来場者からの熱い視線は、キャラバンニング人気の継続とホビーブランドに対する根強い信頼を証明しています。優れた組織運営によって素晴らしいイベントの基盤を築いてくれたメッセ・デュッセルドルフチームに心から感謝します。」（Hobby Wohnwagenwerk 社代表取締役ホルガー・シュルツ氏）
- ・ 「CARAVAN SALON 2026 は、対面での出会いや専門的な対話、そして刺激的なアイデアがレジャー産業にとっていかに重要であることを改めて証明しました。会期中、多くの有意義で深い対話を重ね、品質の高いハイキング観光、気候変動がもたらす課題、さらには若年層におけるハイキングの最新トレンドといったテーマに対し、非常に高い関心が寄せられていることを実感しました」（ドイツハイキング協会 専門理事 Dr. ベルント・ハートマン氏）